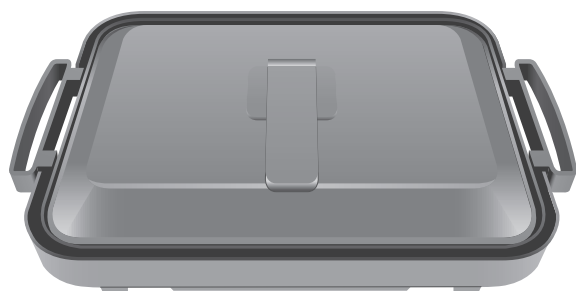


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

ホットプレート YHM-SW130



もくじ

- 安全上のご注意…………… ①～②
- 使用上のご注意…………… ②
- 仕様…………… ②
- 各部の名称…………… ③
- 使いかた…………… ④～⑤
- お手入れ…………… ⑤
- 故障かな?と思ったら…………… ⑥
- 点検…………… ⑥
- アフターサービスについて…………… ⑥
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社ホットプレートをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

	危険	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性が高いもの
	警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



本体や自動温度調整器を水につけたり、水をかけたりしない
また、プレートを濡れたまま本体にセットしない

水濡れ禁止 ショート・感電の原因になります。



分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V 15A以上 交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用したり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

根元まで差し込む 感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは乾いた布でふき取る

ホコリをとる 火災の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く

異常時(焦げくさいにおいなど)は、ご使用を中止して電源プラグを抜く

異常のままご使用を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

揚げ物は、しない

火災の原因になります。



禁止

不安定な場所や燃えやすい物の近くでは使わない

火災、やけどやけがの原因になります。

本体に衝撃を加えない

ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと加熱しすぎたり異常動作、感電の原因になります。

子供だけに使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。

専用のコードセット以外は使用しない
また、コードセットは他の機器に転用しない
故障、発火のおそれがあります。

付属のプレートを外した状態で使用しない

プレートを外したり、他のプレートをのせて加熱しないでください。火災や故障の原因になります。

遮熱板やプレートが汚れたまま使用しない

汚れてくると異常過熱して発煙・発火したり、故障の原因になります。

自動温度調整器や差込口に異物を付着させない
ショート・発煙・発火の原因になります。乾いた布でふき取ってください。

自動温度調整器をなめさせない
特に乳幼児が誤ってなめないように注意する
感電やけがの原因になります。

⚠ 注意



プラグを
抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火する原因になります。

本体周囲に熱がこもる環境で使わない

新聞紙など本体裏面の通気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災の原因になります。※壁や障害物から10cm以上離してください。

蒸し焼料理やステーキなどを焼くときは、ふたの間から出る蒸気や油の飛び散りに注意する
やけどのおそれがあります。



禁止

缶詰やビン詰めを直接加熱しない

破裂や赤熱して、けが、やけどの原因になります。

予熱以外に空焼きをしない

フッ素加工がはがれたり、プレートの変形の原因になります。

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。

プレートを直接ガスコンロなどで加熱しない

本製品以外での使用は絶対にしないでください。
プレートの変形・破損の原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

敷物が熱で変色・変質したり、火災の原因になります。

使用中や使用直後しばらくは、プレートなどの高温部にふれない

プレートなどが熱くなっていますので、やけどの原因になります。

使用上のご注意

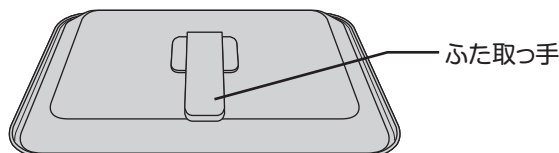
- 初めて使うときや長期間保管していたときは、ふたやプレートを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 初めてお使いになるときは、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。
ご使用にともないなくなります。
- 長時間使用していると、調理物の油や水の成分によってプレートが変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- ご使用中、きしみ音が発生することがありますが、ヒーターの熱膨張によるもので故障ではありません。
- 調理以外には使わないでください。故障の原因になります。
- 調理中にプレートやプレートとふたの間からの水や水蒸気・油の飛び散りに注意してください。
- 調理中に多量の冷たい水をプレートに入れないでください。急激な温度低下によってプレートが変形するおそれがあります。ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯を入れてください。
- 自動温度調整器の接続部（差込口のピン、ピンの差込口、感熱棒）に調理物が付着しないよう注意してください。
付着したときは、ただちにお手入れしてください。
- プレート裏面や遮熱板に調理物などが付着しているときは、乾いた布などでふき取ってください。
放置すると発煙・発火の原因になります。
- 予備加熱以外に空焼きをしたり、金属へらやフォーク、ナイフなど角や先の鋭利なものは使用しないでください。
プレートのフッ素加工がはがれる原因になります。
- プレートに調理物を放置しないでください。また、お手入れは早めにしてください。
プレートのフッ素加工のはがれや浮き、変色の原因になります。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	本 体 質 量	約3.8kg
定格消費電力	1300W	電源コード長	約1.8m
本 体 寸 法	約幅55.0×奥行31.3×高さ15cm(ふたを含む)	温度調節範囲	保温～約200℃
プレート寸法	内寸 約40.5×28.5×1.5cm	ヒ ー タ ー	シーズヒーター

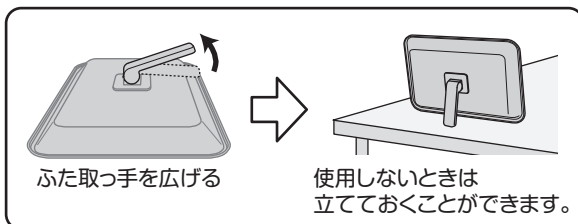
各部の名称

ふた 早くプレートの温度を上げたいときや、水分を保ちたい料理などに使用してください。



注意

蒸し焼料理やステーキなどを焼くときは、ふたの間から出る蒸気や油の飛び散りにご注意ください。やけどのおそれがあります。



ふた取っ手を広げる

使用しないときは立てておくことができます。

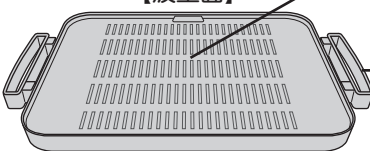
プレート

両面使用できます。

【平面】



【波型面】



調理面

傷つけたり、調理物を放置したりしないでください。

プレート取っ手

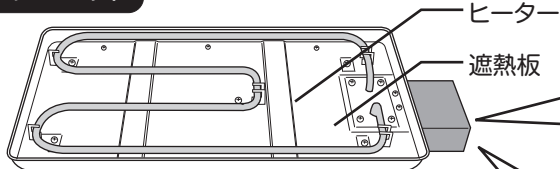
調理中や調理直後は熱くなっていますので、注意してください。

油トレイ

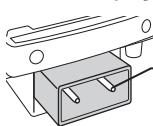
常に設置しておきます。



ヒーターセット



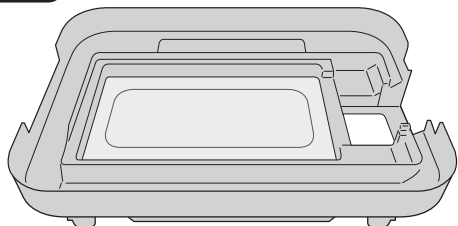
プラグ差込口



ピン

水をつけたり汚さないでください。

本体枠

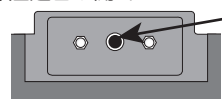
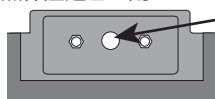


プレート検知金具

プレート取っ手を乗せないと温度調整器の感熱棒が差し込めません。

プレートを乗せていないときは感熱棒差込口は閉じている

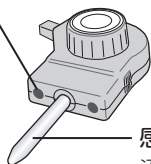
プレートを乗せたときは、感熱棒差込口が開く



【自動温度調整器】

ピン差込口

異物が入らないよう注意してください。



感熱棒

汚れたら乾いた布でふいてください。

パイロットランプ

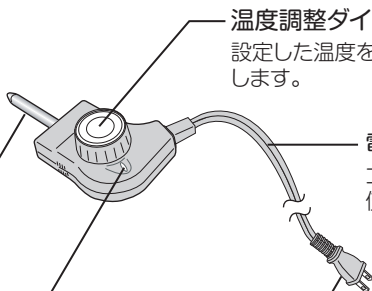
使用中はついたり消えたりします。

温度調整ダイヤル

設定した温度を保つように電源を入り切ります。

電源コード

コードをたばねたままで使わないでください。



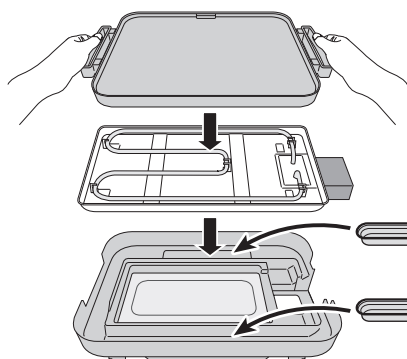
電源プラグ

汚さないでください。

使いかた

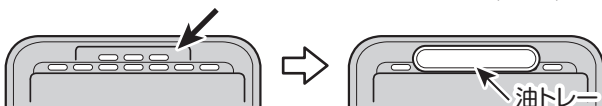
1 プレート、ヒーターセット、油トレーを取り付ける

プレート(平面)を使用する



・プレート裏面や遮熱板に水滴や異物が付着していないか確認してください。付着しているときは、乾いた布などでふき取ってください。

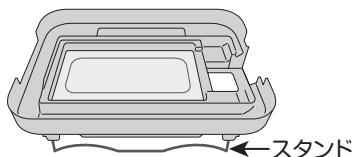
・油トレーは、本体枠の下図の位置に入れてください。(2箇所)



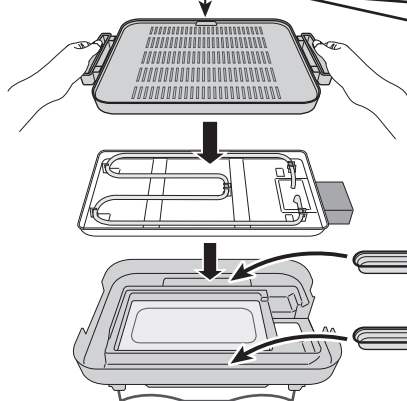
プレート(波型面)を使用する

肉などを焼くときに、プレート(波型面)の穴から余分な油を油トレーに落とします。

本体枠底面のスタンドを立てる



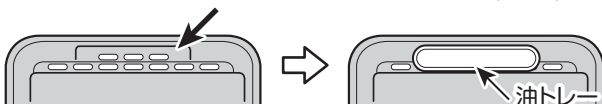
穴



プレートの穴を
スタンドの反対側にしてください。

・プレート裏面や遮熱板に水滴や異物が付着していないか確認してください。付着しているときは、乾いた布などでふき取ってください。

・油トレーは、本体枠の下図の位置に入れてください。(2箇所)



2 自動温度調整器をセットし、電源プラグをコンセントに差し込む

①温度調整ダイヤルの「OFF」とパイロットランプの位置を合わせてください。

②プラグ差込口にしっかりと差し込んでください。

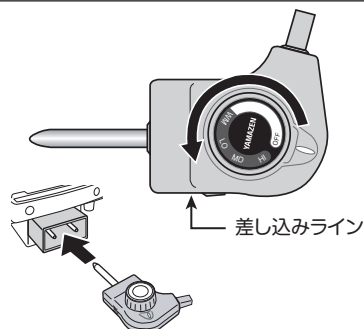
自動温度調整器の差し込みラインまで確実に差し込んでください。



注意

プラグ差込口のピンや自動温度調整器のピン差込口、感熱棒が汚れていないか確認してください。汚れていたら乾いた布でふいてください。

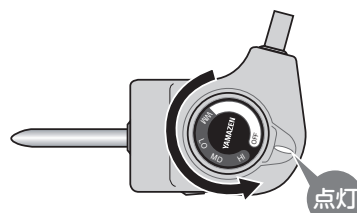
プレートがセットされていない状態では絶対に通電しないでください。



使いかた

3 調理する

- 【予熱】 温度調整ダイヤルの目盛りをパイロットランプに合わせて予熱してください。パイロットランプが消えたら予熱完了です。
※予熱の時間は設定目盛りや室温によって多少異なります。



温度の目安

目盛	WM (80℃)	LO (120℃)	MID (160℃)	HI (200℃)
----	-------------	--------------	---------------	--------------

【調理】

- ・予熱が完了したら、調理を始めます(必ず予熱してから調理してください)。
- ・調理をする前に、プレートにサラダ油をうすくぬってから、ご使用ください。
- ・使用中は、パイロットランプが付いたり消えたりして設定温度を保ちます。
- ・できあがりをお早くしたいときや油が飛び散るときは、ふたをご使用ください。
- ・保温をするときは、温度目盛りを「WM」にしてください。

プレートのフッ素加工を傷めないために

- ・予熱以外に空焼きをしないでください。
 - ・金属へらやフォーク、ナイフなど角や先の鋭利なものは使用しないでください。
 - ・調理したものをプレートに放置しないでください。また、お手入れは使用ごとに行ってください。
- フッ素加工のはがれや浮き、変色の原因になります。

ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯(90℃程度)を入れてください。また、水や油の飛び散りにご注意ください。

- ・調理中にプレートを取り外したりしないでください。やけどのおそれがあります。
- ・使用中にキシミ音があることがありますが、熱による膨張収縮音で故障ではありません。
- ・調理中、温度調整ダイヤルを回すときは、周囲が高温になっていますので、ご注意ください。

お手入れ



注意

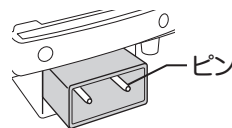
- 使用直後は、本体・プレート・ふたは、熱くなっています。お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、十分冷えたことを確認してから行ってください。特にプレートが熱いときに水をかけると、変形したり、フッ素加工を傷めることがあります。
- お手入れには、シンナー・クレンザー・金属たわし・アルカリ洗剤などは使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。
- お手入れは使用後毎回行ってください。

【本体】

台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。

【ヒーターセット】 水洗い禁止

- ・遮熱板やヒーターは、台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- ・差込口のピンは、乾いたふきんなどで汚れや異物をふき取ってください。



【プレート、油トレー】

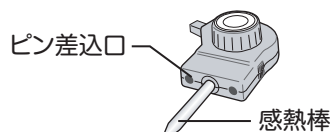
- ・本体から取り外して台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。
- ・こびりついた汚れは、ぬるま湯にしばらく浸してから落としてください。
- ・洗った後は、十分に乾燥させてください。

【ふた】

台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。

【自動温度調整器】 水洗い禁止

- ・感熱棒や本体は、乾いたふきんなどで汚れや異物をふき取ってください。
 - ・ピン差込口に付着した異物は、爪楊枝などで取り除いてください。
- 付着して取れないようであれば、点検修理を販売店にお申し込みください。
(有償修理となりますので、ご了承ください。)



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ
プレートの温度が上がらない	●電源プラグが抜けていませんか。 ●自動温度調整器が本体から外れていませんか。 ●温度調節ダイヤルが「OFF」の位置になっていませんか。 ●プレートが本体に確実にセットされていますか。 →傾いていたり、浮いていたりする場合は再度セットしなおしてください。 ●遮熱板やヒーターが汚れていたり、異物が付着していませんか。 →遮熱板やヒーターをお手入れしてください。 ●自動温度調整器の感熱棒やピン差込口、ヒーターセットの差込口のピンが汚れていませんか。 →5ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。
自動温度調整器が熱い	●自動温度調整器の感熱棒やピン差込口、ヒーターセットの差込口のピンが汚れていませんか。 →5ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。
使用中に音がする	●「カチッ」と音がする。 →ヒーターの膨張による音で故障ではありません。
煙がでたり、においがする	●初めてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用にともないなくなります。
加熱ランプがついたり消えたりする	●設定した温度で温度調節（電源の入り切り）を行っているためです。異常ではありません。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり原因がわからないときは、自動温度調整器のダイヤルを「OFF」にして差込口から抜き取り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

点検 電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

- 1.電源プラグが汚れていたり、さびていたり、ホコリが付着していませんか。→汚れ、さび、ホコリなどを取り除く。
- 2.電源コードに傷がありませんか。
- 3.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがありませんか。

※上記の2.および3.の症状があるとき、または1.の場合で汚れなどが取り除けない場合には感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には、製品の保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理はお買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申し付けください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

本製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  0570-019-700
※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は製品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の製品名・品番をご連絡ください。